

大阪市地下鐵の 起工式

昭和四年一月二十九日午前十時から、大阪市東區平野町四丁目と淡路町四丁目間の街上、それは大阪市都市計画路線の二十四間幅の御堂筋線をなす處で地下鐵起工式は舉げられた。

式場は大テントを覆ひ、紅白の幟幕を張り工事關係者の列席約八百名に及び定刻御靈神社の神官の御祓ひ式に初まり、關市長と清水高速鐵道部長は平塚市電氣局長の案内で、祭壇の前方に四本の竹柱と注連飾で神々しく囲まれた約二間四方の地上に進み出で、關市長が長一尺五寸の銀色の鶴嘴を振つて三度火地を穿ち、次に清水技師長は長一尺五寸の銀色ショベルを持つて其上を掘起した、斯くて此の記念すべき鍵入れの式はすんだ。



第1圖 大阪市地下鐵工事起工式、鶴嘴を持つは關市長、ショベルを持つは清水部長。

一、開	式	午前十時
一、開	式	(第一號報)
一、開	式	齊主祝詞奏上(一同起立敬禮)
一、開	式	祓(大麻並鹽湯行事)
一、開	式	降神(一同起立敬禮)
一、開	式	獻饌
一、開	式	掘初行事
一、開	式	玉串奉奠
一、開	式	齊
一、開	式	市長
一、開	式	會議長
一、開	式	電氣局長
一、開	式	高速鐵道建設部長
一、開	式	第一建設事務所長
一、開	式	第二建設事務所長
一、開	式	工事請負者
一、開	式	總代
一、開	式	來賓
一、開	式	祝辭
一、開	式	知事
一、開	式	昇神(一同起立敬禮)
一、開	式	市長式辭
一、開	式	鐵道局長
一、開	式	遞信局長
一、開	式	(第二號報)



第2圖 式場の量、左方遙に大阪市役所其他の建物を望む